

「課題名：MRI/経直腸超音波融合画像ガイド下前立腺生検における臨床有意 癌検出リスクのノモグラムの作成」について

○ 研究の意義・目的

当院では前立腺癌の確定診断をするために、MRI/経直腸超音波融合画像ガイド下前立腺生検（以下 Fusion biopsy=FB）という方法を用いて、通常の前立腺生検よりも高い精度で前立腺癌診断を行っております。

腫瘍マーカー軽度上昇（血清 PSA 4~10ng/ml）の方では約半数が通常の前立腺生検で癌が陰性であり、検査が本当に必要な方を事前に絞り込むためのより明確な基準が求められています。

今回、精度の高いFBの癌診断結果を元に患者様ごとの前立腺癌リスクを予測することで、検査の適応基準を考えるためにこの研究を計画しました。

○ 研究対象者

2011年2月1日から2025年3月31日までに、広島大学病院・腎泌尿器科および共同研究機関でFBによる前立腺組織診断を受けられた男性患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、過去の前立腺生検既往、前立腺癌家族歴、服薬歴、血液検査（血清PSA値）、MRI画像情報（PI-RADSによる評価病変の情報、前立腺体積）、病理組織診結果でず（個人が特定出来る情報は転記しません）。

以下の機関と共同で研究します。当院・広島大学に情報を集め研究担当者・宮本俊輔が解析します。

- ・鳥取大学 寺岡 祥吾
- ・京都府立医科大学 山田 剛司
- ・川崎医科大学 宮地 禎幸
- ・JA 岐阜中濃厚生病院 宇野 裕巳
- ・大分大学 秦 聡孝
- ・別府湾腎泌尿器科病院 佐藤 文憲
- ・江戸川病院 古賀 祥嗣

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学 腎泌尿器科学 講師 林 哲太郎

○ 研究期間 2020年8月1日（委員会承認後）～2028年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5242

広島大学病院泌尿器科 講師 林 哲太郎 (研究担当者)